

# 生命(いのち)のメッセージ展 アンケート

令和7 年11月2日～3日開催

## 【自由記述】

車関係の仕事をしているため、飲酒運転は加害者家族、被害者家族どちらも大きな傷を後々までつける。

自分も車を運転するので加害者側にならないように気を付けなければと思った。

安全運転を改めて心がけます。

何度来ても辛い。考えさせられる。

なぜダメと解っていながら、酒を飲み、車の運転をするのか？怒りを覚える。

仕事でかかわっており、いのちのメッセージ展に伺いたかったので、開催していただきありがとうございました。パネルの大きさや靴を見ると、新聞やニュースだけの話ではないんだと、より実感でき、関心をひけると思いました。

ありがとうございました。

子どもがたくさん亡くなっていてかわいそう。

せつない。

せつない。

身近でもあった。いじめ等で命を落とす。せつかくもらった命、一人ひとりもっと寄り添い合い生きていける社会になってほしい。

こんなことがあったんだと感心した。

亡くなった方や家族の無念にふれた。

自分より若い人が亡くなっているのが辛かった。より一生懸命生きていかないといけないと感じた。

目をそむけたくなるような空間でした。一人一人の命を大事に過ごせる世の中になってほしいと思いました。

今とても心がしんどいです。どの被害者の人にも輝く日常・未来があり、愛してくれる家族があり、親はまさか自分の子どもが先に突然亡くなるなんて夢にも思っていなくて…。今日の帰り道の運転、いつも以上に気持ちを引き締めます。道路にはたくさん大切な命があることを肝に銘じて。

一人一人のことがメッセージで伝わり、その人個人のことを考えることができた。

大切な人をなくす悲しみ、想像を絶します。悲しみがいえますように。

それぞれの方の想いがあり、読んでいて心を動かされた。

身につまされる思いでした。運転を気を付けたいと思います。

遺品やお顔を知る貴重な機会になった。

遺品があることで、そのことがあったことがとても身近に感じられました。とても生々しいものもありましたが、とても考えられるなと思いました。

以前TVで見たことがあり、ご家族の気持ちを思うと悔しく、腹立たしく涙が出ました。全てこういうことはなくなればいいのに。

今回2度目です。何回来ても胸がしめつけられる思いです。残されたご家族はどれほどか……。理不尽な事件や交通事故がなくなることを、加害者に大きな罰がくだることを願うばかりです。

突然に亡くなった人達のがよく分かり、どういうことで亡くなったかが分かると、残念で仕方がありません。人を殺した相手側にもっと罪を償ってほしいです。言い逃れはやめてもらいたい。

痛ましい事件のニュースはいぜんとして途絶えることがないから。交通事故で身近な人を亡くしたことがあるから。

この世の中は理不尽なことが多いと思います。

鉄道乗務員という立場で、自死に対応した立場で色々と考えさせられた。

現実感がとても強かったです。

気を付けようよと思った。

理解しやすいパネルが多くていいとおもいました。

尊い命、交通戦争という言葉なくなる日を祈ります。

犯罪は一人一人が気を付ければおきる確率もグンと下がるかもしれないのに、と思うと同時に故意にひどい犯罪をする人はぜったいに許せないし、許してはいけないと思いました。ご遺族の方が少しでも報われる事を、幸せになれるよう願います。

毎回パネルを見るたびに、こんな事は絶対に起きないように願っています。

等身大パネルと靴の生々しさが、ひどく心に来た。誰でも事故に遭う可能性はあるし、誰でも事故を起こす可能性があるだろうことを改めて思い知った。また、亡くなった被害者の家族はずっと事故の思い出と現実と戦い続けなければならないのだと、彼・彼女らもまた被害者だと感じた。

一度しかない人生を途中で残して亡くなるなんて悲しいことです。二度とない人生を、悔しいことです。皆、仲良く楽しくできたならどんなに幸せでしょうか。

何度見ても憤りを覚える。

もっとたくさんの人にこのパネル展を知ってもらい、見てもらいたいです。

ニュースで一時的に意識するものの、被害者の方々にも日常が続いていることを認識する機会となりました。亡くなった、特に男の子たちの靴が皆やけに大きく見えました。写真ではわからないけれど、靴の現物が幻の実体を想像させてくれます。

加害者に対する刑が軽すぎる。法改正が必要。外国人が増えてきた今、早く手を打たないとたいへんなことになる。

涙が出ます。ご冥福を祈ります。

ご遺族の方々の無念さや悔しさを思うと本当に心が痛むと共に、絶対許してはいけないなと思いました。もっと色々な場所でもこの展示をしてたくさんの人に伝えるべきだと思いました。私も運転をする身として安全運転を改めてしていかなければいけないと思いました。今回拝見できて良かったです。ありがとうございました。

世間には多くの被害者が苦しんでいる事を、もっと知ってほしいです。

自分と同世代の命が身勝手に惨殺されてしまった被害者を見て、私自身も何かしらの形でそういった支援が行えればなと感じました。

私自身車を運転するので、このハンドルで自分の命、他者の命を奪ってしまうという気持ちで、常に安全運転をしないといけないと思いました。春からは夢だった看護師になります。一人でも多くの人を救えるように、またこのような被害者家族の支援等、誰かのために動ける人間になりたいと思いました。

被害者に冷たい厳しい世の中に、ますますなっているような気がします。とても切ない。

飲酒運転について、もっと厳しく罪を与えるべきだと思います。

生命の大切さを深く考えることができた。

子を亡くす親の無念、将来のある子の無念、すべてにおいて言葉が見つからない。どうか成仏してほしい。親御さんも救われてほしい。

理不尽としか言えない犠牲に遭われた方ばかりで、言葉ありません。せめて自分が加害者とならぬよう、被害者とならぬよう。

被害者の人にはいっぱい夢があったのに、危険な運転で命を失うことに憤りを覚えました。

若い人たちの展示が多く、心が痛む。

考える事が多くある展示でした。

子どもがいてるので、見るのが辛かったが知って良かった。

パネルを見ただけで辛く、悲しかったです。

運転する時は気を付けたいです。

昨日のNHKの未解決ドキュメントとオーバーラップして興味深い。

昨年も参加しました。今を生きていることに感謝するとともに、不条理に「生きること」を奪われた人たちの無念さを思うとやりきれません。自分も被害者、加害者になることもあり、行動に注意しなくては・・・と思います。

3回目の参加です。回を重ねるごとに命の大切さ、日常のありがたさを感じずにはいられません。理不尽なことで、突然家族を失う事がどれほど辛い事か、言葉では表せない。車を運転する覚悟が大事だと感じました。悲しみの中にあって、事実と向かい合うのも大変な中、お手紙を書かれたご家族に感謝いたします。

活動頑張ってください。

いのちの大切さを再確認できた。

若い人々の話を読むと、誰でもいつ起こってもおかしくない現実には涙が出ます。車を運転するものとして、しっかりと焼き付けないといけないと思います。

理不尽に命を奪われることに憤りを感じます。自分も車を運転するので、加害者・被害者にならないようにと思いながら運転するように心がけます。

思っていたよりも重く、胸が締め付けられました。自分が被害者にも加害者にもなることを、改めて実感しました。ちょっと本気で生き方変わりました。

どうもありがとうございました。命の大切さを再び考えるきっかけになりました。

確認がすべてで、確認後のスタートに心がけを継続して、毎日を過ごしたいと思いました。

交換留学生です。台湾ではこのような展示に参加したことがなく、今回学園祭を見て回っている時にたまたま入りました。犯罪被害者や靴を見て被害者の存在をより現実的に感じ、胸が痛くなりました。亡くなられた方のご冥福を心よりお祈りします。

大学の学園祭で毎年開催されていることがすばらしいと思います。できれば、ここに足を運ばない人たちにどのように伝えていくのか、新たな発信手段を考えてほしいと思います。

自分がいつ被害者や被害者家族になるかもしれないという思いと、突然日常を奪われた人たちを思うととても辛く、繰り返してはいけないと感じた。

やはり見るのがつらい。

毎年パネル展を見ているが、生命の重みというものを、もっとみんながしっかり考えることが必要である。そのためにもいろいろな場(それぞれの学校)でもっといのちのメッセージを展示することが必要。

車の事故の罪を重くしてほしい。

子を持つ親として、大切に育てていかないといけないと思いました。

初めてこういったパネル展に参加しました。言葉になりませんね。改めて命の尊さを実感することができました。大切に生きたい。

大切な事だと思うので、広く周知・啓発してください。

いつ見ても胸がつまる思いです。

普段ニュースで表面しか知らなかった事件の被害者ご本人、ご家族の事を、以前よりもよく知る機会になった。この展示を見ることができて、とても有意義だった。私はまだ学生だけど、こういった活動の助けになることができたなら良いと思うようになれました。ありがとうございました。

事件を知り、とても悲しい気持ちになった。こんなことなくなってほしい。

交通安全教室よりも内容が生々しくて効果がありそう。自分や身近な人が被害にあってしまったらと想像してしまうと怖くなる。未然に防ぐためにできるだけ事をしないといけなと感じた。

実際の靴を見ていると、被害者の方々が本当に生きていたんだと実感して、被害者やその遺族を思うと胸が痛くなった。いつ自分が被害者や加害者になるかもしれないと思うと恐ろしいし、被害者の方々のためにも加害者が優先される社会を少しでもなくしていきたいと思う。

運転者講習(春・秋)を義務化する。車のブレーキは左足で踏む。この2点で交通事故は減る。

交通事故被害者がいなくなる世界に。指導死もいたたまれない。元教頭

毎年この展示のためだけに来ています。最初は娘の学園祭に来たのがきっかけですが、卒業した今もこの展示のためだけに来ています。どうか毎年続けてください。とても大切な一室です。

命の大切さを改めて知った。

自分も娘を今年亡くし、同じような気持ちの方の事を知りたいと思い来てみました。一人一人の命の重みがよく伝わってきました。同じような気持ちの方が頑張っておられる事に自分も勇気をもらいました。ありがとうございました。



命の尊さについて改めて考えさせられました。これからは自分や周りの人の命をもっと大切にします。

白鷺祭のたびに子どもたちが生命のメッセージ展に行きたいと言うので連れて来ています。一年に一度、子どもたちなりに考え、思うことがあるのだと思います。私にとっても良い機会です。これからも続けて企画してください。

色んな事に注意していこうと思いました。

おさない人が亡くなってしまうということ。

よったまま車をうんてんしない！！なぜぼうそうすることがあるのか、よくわからなかった。

いきる

こうつうじこをきをつけよう。

交通ルールを守ろうと思った

とてもかなしかった！これからも生命を大切にする！

とてもかなしいことだと思った。これからはこんなことがおきないように心がけたい。

こうつうじこにきをつけよう！！

人がしんでかなしい。

すごくかなしいおはなしでした。

かわいそう。

戦争と同じであってはならないこと。たくさんの人に知ってうけつがれると良いと思った。

いつかしぬとおもったらこわい

いつかしぬとおもったらこわい